

歯科技工所におけるトレーサビリティの重要性

山下茂子

平成17年3月歯科技工所の構造設備と品質管理に関する具体的な基準が示された、「歯科技工所の構造設備規準及び歯科技工所における歯科補綴物等の作成等及び品質管理指針」が、厚生労働省医政局長通知として発令されてからはや8年。多くの歯科技工所でこの通知に基づいて構造整備管理、品質管理を行ってきたが、平成23年6月、新たに「歯科医療における補てつ物等のトレーサビリティに関する指針（海外輸入補てつ物について）」が発信された。この指針により、より踏み込んだ歯科補てつ物等の情報を記録・保存することが今後の重要な課題となってきている。また、トレーサビリティを考慮した補てつ物を作製することは、歯科技工所の経営にも大きなプラスになると考えている。そこで平成15年よりISO9001、ISO14001承認を受け環境管理および品質管理を運用した経験に基づいて、歯科技工所におけるトレーサビリティの重要性について述べたい。